

## 五十嵐ゆうこの米國小売業最新レポート

2021年11月26日

The Black Friday Sale 2021

2021年のブラックフライデーセール

連日、報道されているインフレーションと人手不足の影響で生じているサプライチェーンの大問題にも関わらず、NRF（全米小売業協会）を始めとするアナリストたちの間では感謝祭翌日の大売出しブラックフライデーセールから週明けのオンラインによる大規模セールのサイバーマンディの期間まで、今年度は昨年より200万人以上も多い消費者が購買するとの予測が出ています。

NRFの社長兼最高経営責任者（CEO）マシュー・シェイ氏は、「ブラックフライデーは1日だけのイベントではなくなり、今年はハロウィーンの時期からクリスマス用のショッピングを始めているお客様もおられます。」と述べました。

また、今年のホリデーシーズンのショッピングをする約33%の消費者は、11月の初旬から、既に感謝祭週末までに購入予定の商品の為に下調べを行っているそうです。



感謝祭当日に店内もしくはオンラインでショッピングする予定の消費者数は推定 3,060 万人で、ブラックフライデー当日にはおよそ 1 億 800 万人、そしてサイバーマンデーに 6,280 万人がショッピングするそうです。

10 月の小売業全体の売上は前月から 1.7% 増加し、合計で US638.2 ビリオン \$（日本円約 73 兆円）に達するという経済にとっては心強い結果でした。

米国商務省は 1.2% の利益というコンセンサス予測（市場において支配的になっている予想数値）を出し、昨年秋に新型コロナウイルスの感染が上昇していた時期よりも 16.3% 高い売上であると述べました。

さらに百貨店の Macys やその他の小売業者はホリデーショッピングシーズンに向けて、予想を上回る四半期収益を計上しています。



「ホリデーショッピングシーズンに入ると、消費者が小売価格の上昇を目の当たりにしますが、それによって必ずしも支出が減少するということには繋がりません。10 月の好調な小売業の売上高と堅調な第 3 四半期は、価格の上昇が消費者の財布の紐を締めていないことを示しています。」と、E\*TradeFinancial の投資戦略担当マネージングディレクターのマイク・ローウエンガート氏は述べています。

またもう1つの大きな要因は、サプライチェーンの混乱が業界全体を通して蔓延している為、商品の欠品を恐れる傾向があり「これらが今年のホリデーショッピングを加速させる可能性があり、そのために生産者と消費者の両方にとって需要の増加と出荷の遅れが双方の焦りに繋がった感もあります」とローウエンガート氏は付け加えました。

Navellier & Associates の最高投資責任者ルイス・ナベラー氏は「消費者物価は過去1年間で6.2%上昇したものの、個人消費が堅調であることには間違いありません。これはホリデーショッピングシーズンの良い前兆で、今年のブラックフライデーセールは良い売上を期待できると思います。私は既に人気のオーディオメーカーBose やその他の小売業者からブラックフライデーセールの特別オファーを受け取っており、これはグッドサインです。供給不足にもかかわらず堅調なホリデーセールを期待出来るのは、失業手当の期限が切れた9月を除けば、今年は景気刺激給付金や時給アップなどの個人所得が大幅に増加したことも主な理由です。10月の堅調な小売業売上高が示したように消費者のポケットにお金が入れば、それを使う傾向があるのです。」と述べています。



日本でこのレポートがアップされる金曜日は、米国では未だ感謝祭の木曜日で家族や親戚が集まって七面鳥をメインとしたご馳走を食べている頃です。

そして翌日の連休に早起きしてブラックフライデー・セールへと出かけるか、ゆっくりと起きてサイバーマンディ目当てにオンラインで購入する商品の見当をつけるかの、どちらかを選びます。

小売業の年間売上の25%が、このブラックフライデーから12月26日のアフタークリスマスセールまでの期間に見込まれると言われる程、アメリカ人が一年で最もお金を使う時期なのです。

米国では12月に入るとグリーティング・シーズンと呼ばれ、日頃からお世話になっている方々にギフトをプレゼントします。

主婦仲間から子供の先生へ、専属の美容師さんから庭師の方々などへ ギフトにクリスマス・カードを添えて渡しします。

そのギフトと家族へのクリスマスプレゼント、そして自分へのプレゼントも合わせて、感謝祭の連休からサイバーマンディでの間にまとめて購入するのです。

必要なギフトを揃えれば、クリスマスの準備の半分が終わった感じです。

パンデミックの真最中だった昨年は、家族や親戚、友人との集まりを制限されましたので今年はその分のリベンジをする方々も多いと思います。

多少、物価高でも『使うときは、パッといかないと！』の精神です。

話は変わりますが、先日、遂に開店した最新システムを導入した Amazon Fresh の新店舗へ行ってまいりました！！

ここは南カリフォルニア初の、生体認証 Amazon One 導入のスーパーマーケット店でもあります。

来週のレポートではブラックフライデーからサイバーマンディまでの売上げ状況の報告と、Amazon Fresh 最新店および Amazon One の体験についても触れたいと思いますので、どうぞお楽しみに！！



